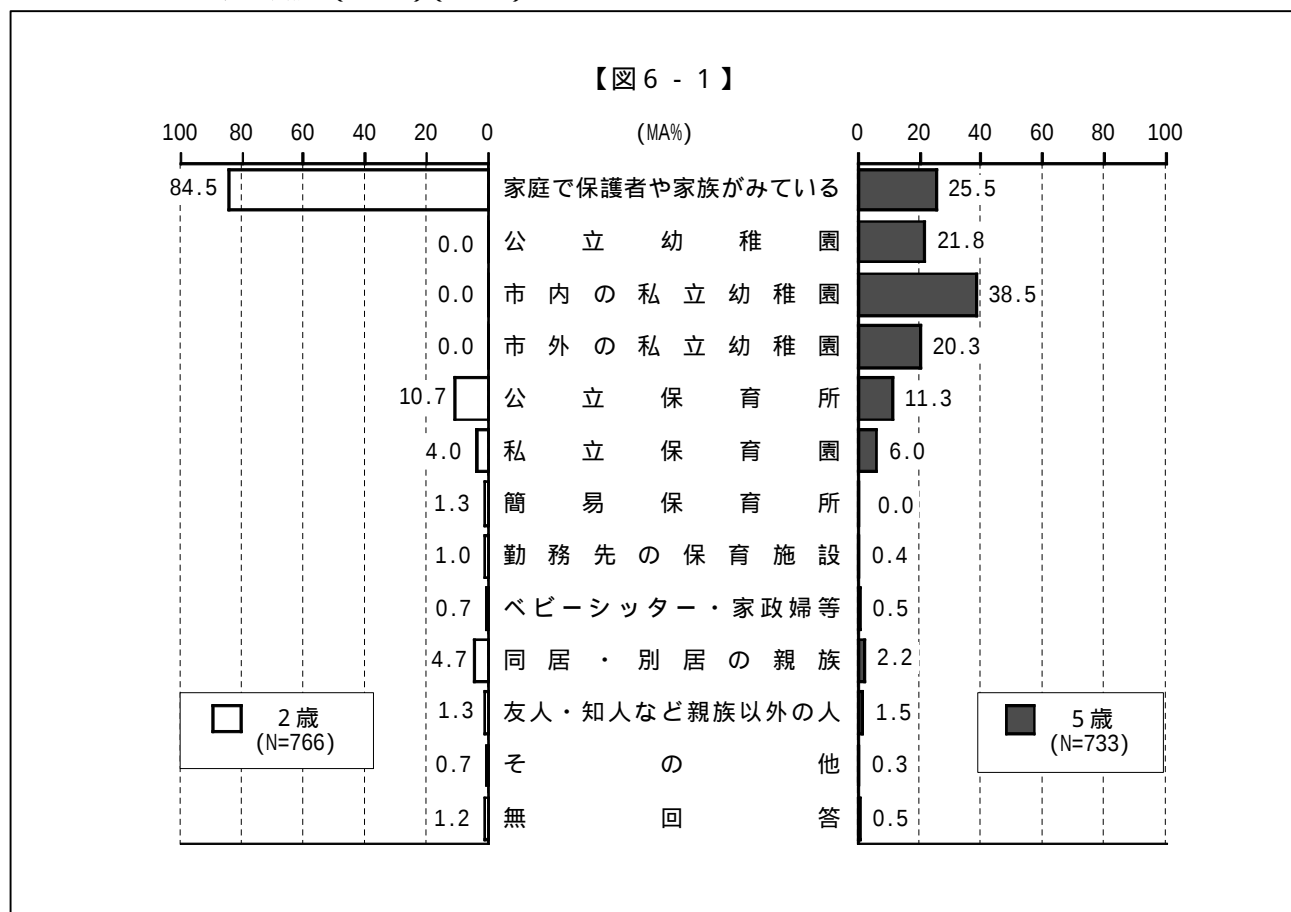


6．箕面市の施策

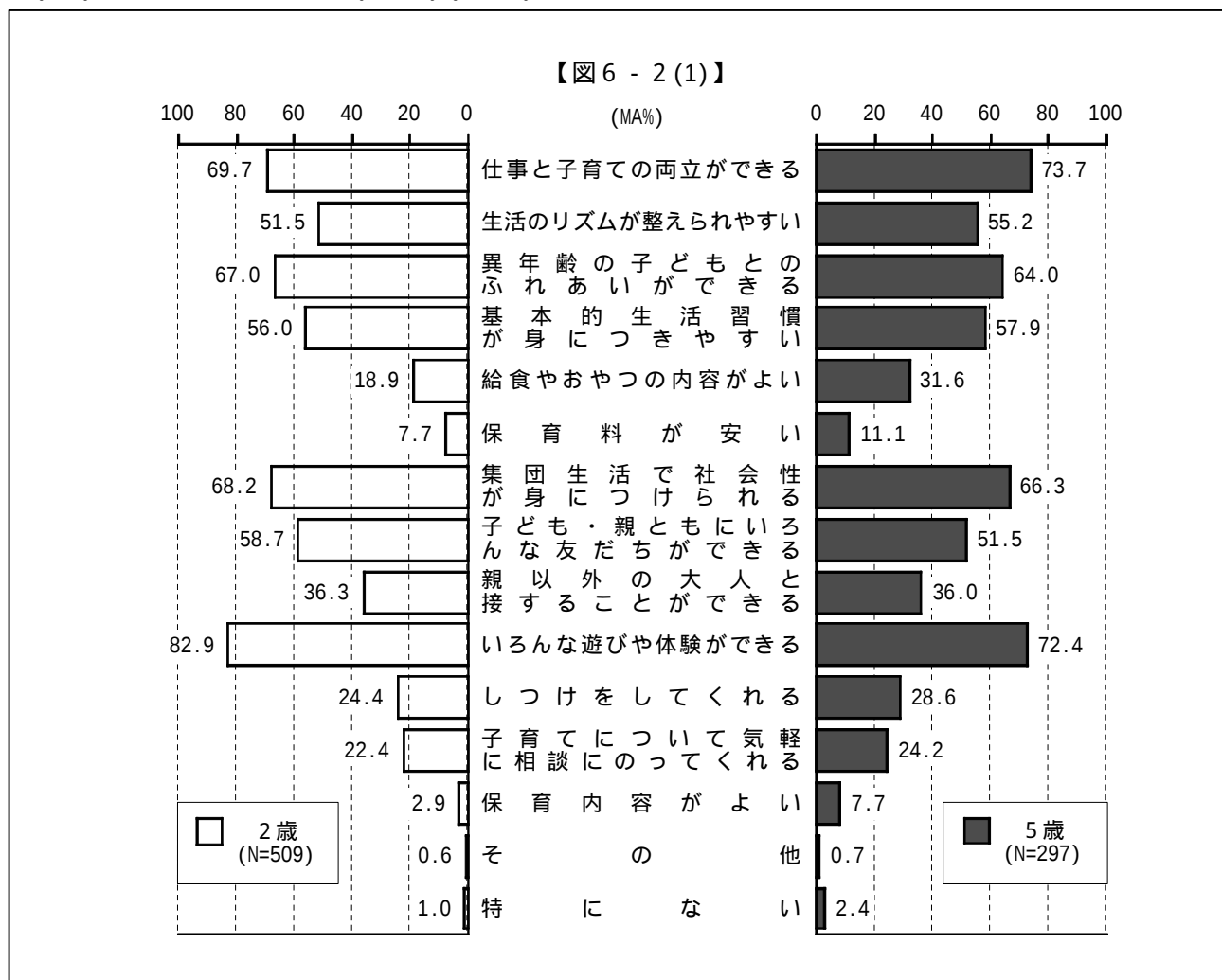
1．子どもの養育状況(2歳)(5歳)



2歳、5歳の子どもの養育状況を見ると、2歳では84.5%が「家庭で保護者や家族がみている」と回答している。5歳になると、その割合は大幅に減少し、「市内の私立幼稚園」(38.5%)「公立幼稚園」(21.8%)「市外の私立幼稚園」(20.3%)と幼稚園に通園させている人が多くなっている。また、2歳・5歳ともに、保育所に通所(園)させている人は、「公立保育所」が約10%、「私立保育園」が4～6%を占めている。(図6 - 1)

2. 保育所・保育サービス

(1) 保育所の良いところ(2歳)(5歳)

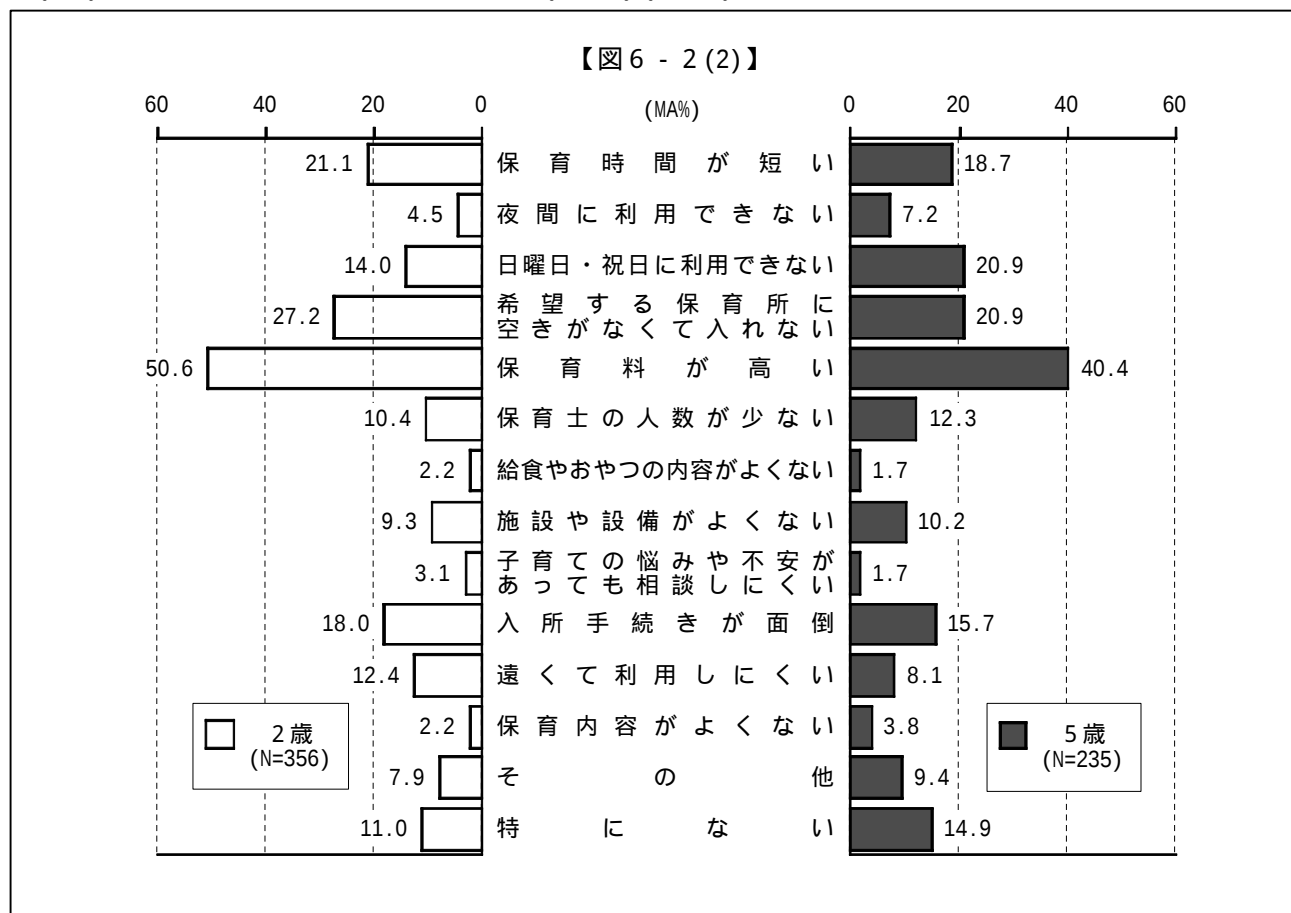


乳幼児の保護者に対して保育所についてたずねたところ、良いところは、年代にかかわらず「いろいろな遊びや体験ができる」「仕事と子育ての両立ができる」「集団生活で社会性が身につけられる」「異年齢の子どもとのふれあいができる」などが上位となっている。(図6 - 2(1))

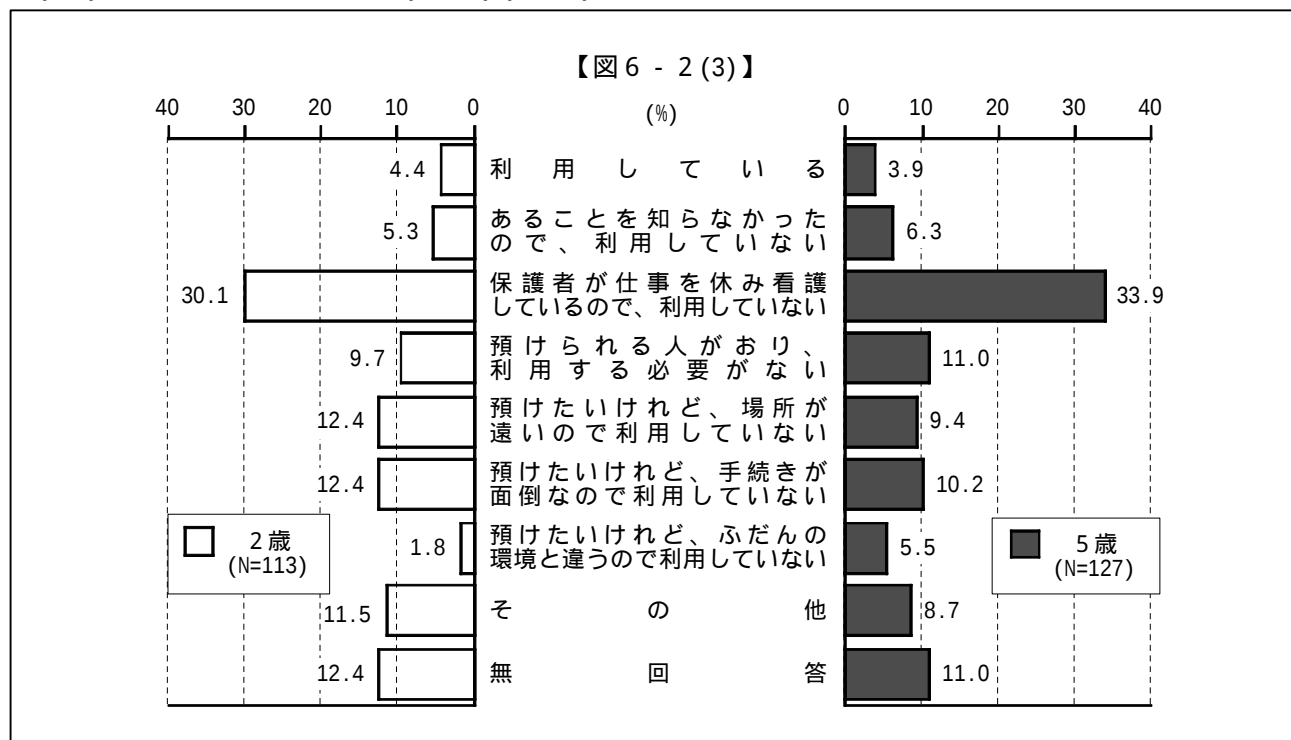
反対に、気になる・困ったところとしては、年代にかかわらず「保育料が高い」が最も多くなっている。次いで「希望する保育所に空きがなくて入れない」「保育時間が短い」が多く、「希望する保育所に空きがなくて入れない」は5歳(20.9%)に比べて2歳(27.2%)の割合が高くなっている。また、5歳ではこれに並んで「日曜日・祝日に利用できない」(20.9%)も多くなっている。(図6 - 2(2))

保育所利用者の病後児保育の利用状況を見ると、「利用している」と回答した人は、2歳で4.4%(5人)、5歳で3.9%(5人)となっている。最も多かったのは、いずれの年代も「保護者が仕事を休み看護しているので、利用していない」となっており、約30%を占めている。また、「預けたいけれど、場所が遠いので利用していない」「預けたいけれど、手続きが面倒なので利用していない」が約10%を占めている。(図6 - 2(3))

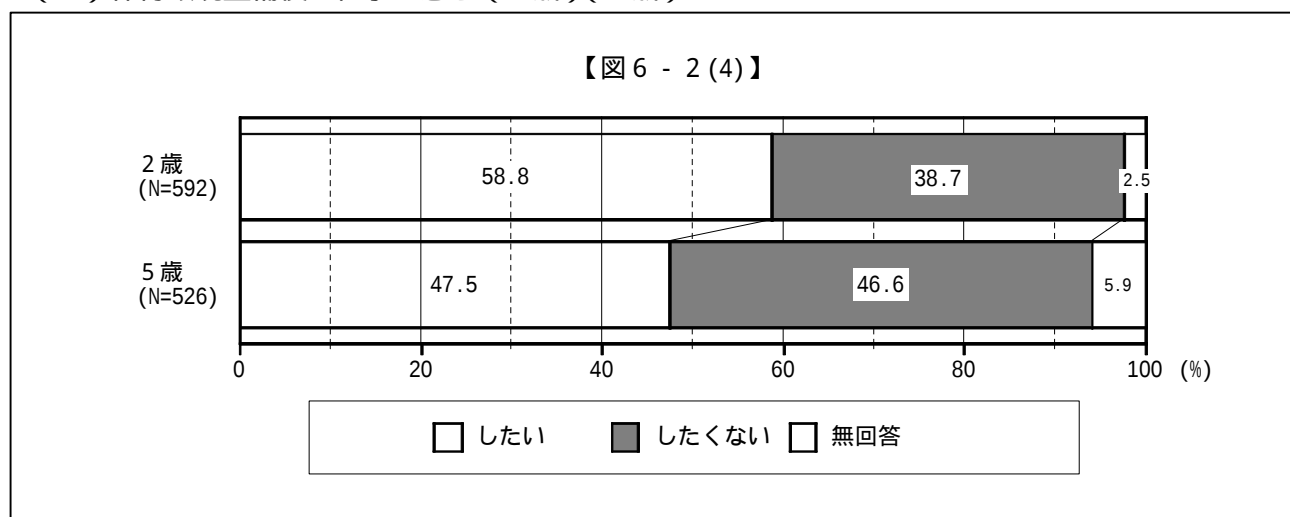
(2) 保育所の気になる・困ったところ (2 歳) (5 歳)



(3) 病後児保育の利用状況 (2 歳) (5 歳)



(4) 保育環境整備後の仕事の意思 (2 歳)(5 歳)



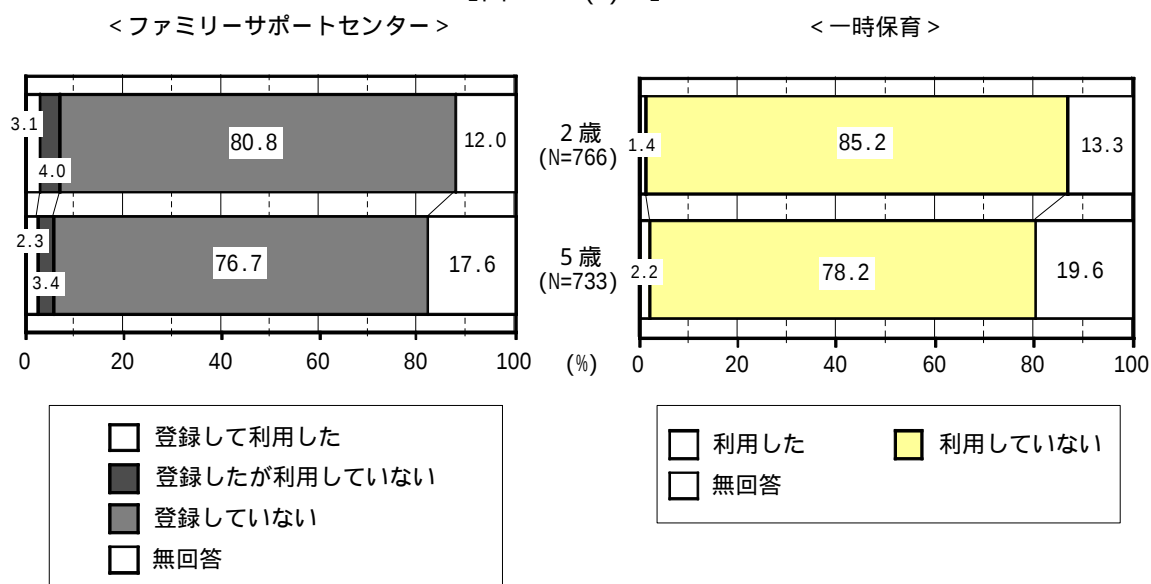
専業主婦（夫）もしくは就労していない保護者に対して、保育環境が整った場合の仕事の意思をたずねたところ、2歳では、「したい」と回答した人が58.8%と半数以上を占めている。5歳になるとその割合は減少し、「したい」が47.5%、「したくない」が46.6%と意見は2分している。（図6 - 2(4)）

一時保育の利用状況をみると、「登録して利用した」もしくは「利用した」と回答した人は、ファミリーサポートセンターでは2歳が3.1%（24人）、5歳が2.3%（17人）、保育所の一時保育では2歳が1.4%（11人）、5歳が2.2%（16人）となっている。「登録していない」、「利用していない」と回答した人は、ファミリーサポートセンター・保育所の一時保育ともに80%前後を占めている。（図6 - 2(5)）

ファミリーサポートセンター、一時保育を利用していない人にその理由をたずねたところ、年齢に関係なく「この事業を知らなかった」が最も多く、約40%を占めている。これ以外には「必要とする事態が生じなかった」、「身近に助けてくれる人がいる」といった必要としなかった理由が多くなっている。（図6 - 2(5)）

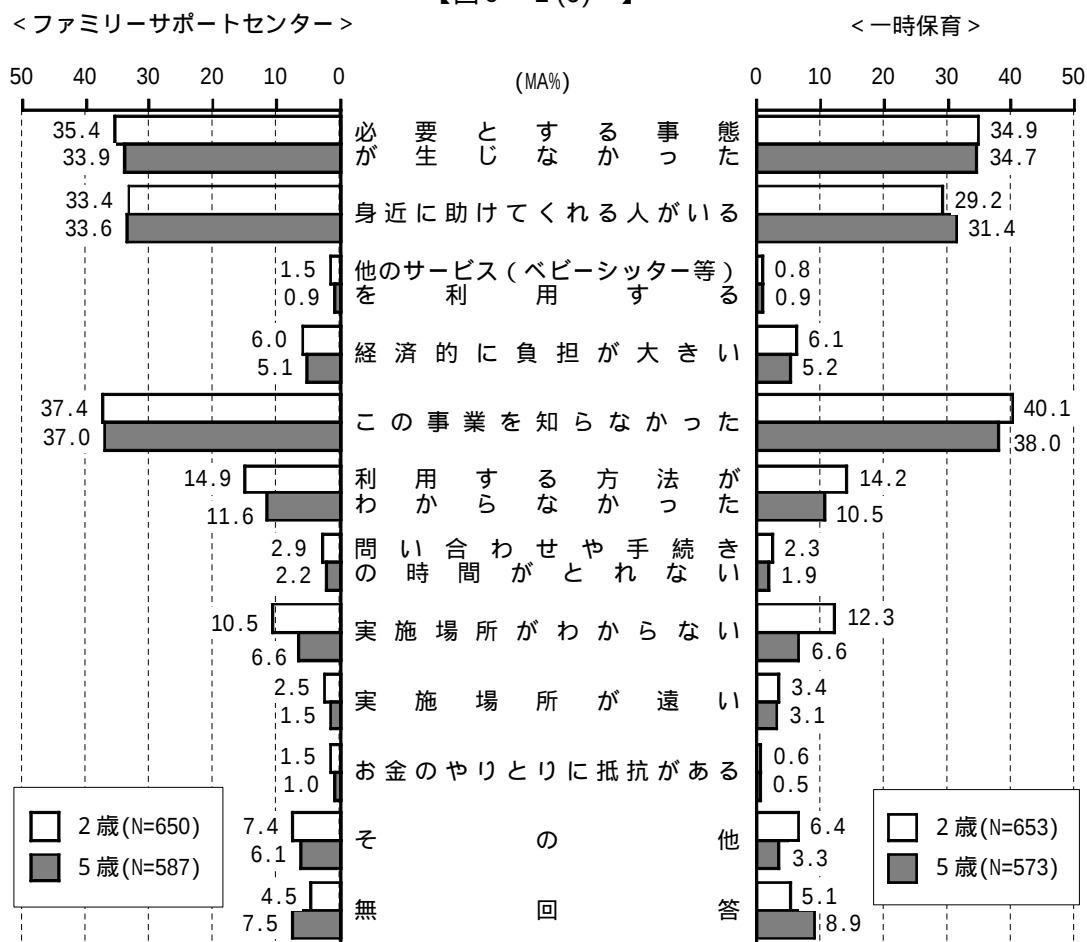
(5) 一時保育の利用状況 (2 歳)(5 歳)

【図 6 - 2 (5) 】



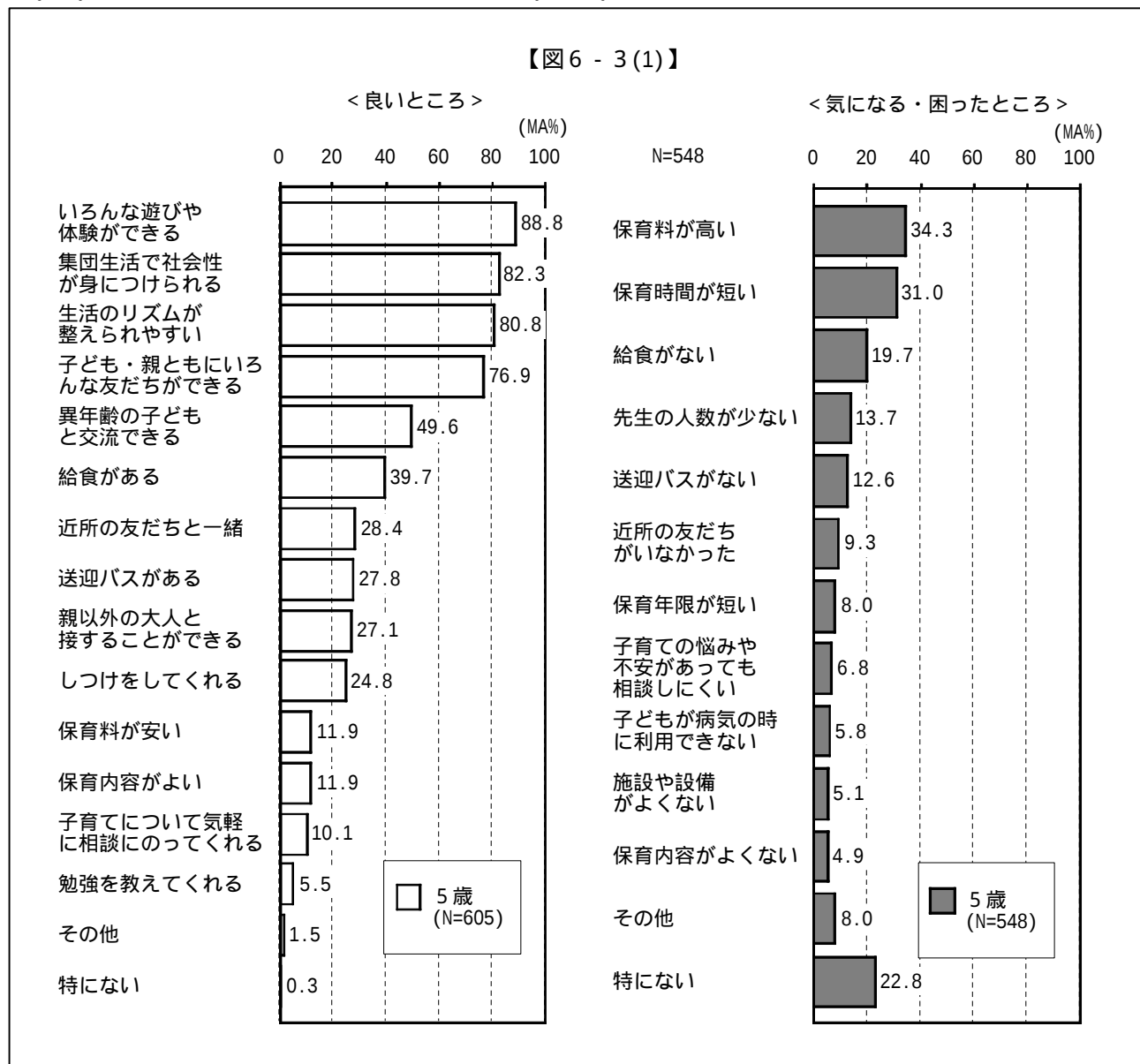
利用していない理由

【図 6 - 2 (5) 】



3. 幼稚園

(1) 良いところ / 気になる・困ったところ (5歳)



5歳の保護者に対して幼稚園についてたずねたところ、良いところとしては、「いろんな遊びや体験ができる」(88.8%)、「集団生活で社会性が身につけられる」(82.3%)、「生活のリズムが整えやすい」(80.8%)、「子ども・親ともにいろんな友だちができる」(76.9%)などが多くなっている。一方、気になる・困ったところとしては、「保育料が高い」(34.4%)、「保育時間が短い」(31.1%)が多く、ともに約30%を占めている。(図6-3(1))

【表 6 - 3 (1) - 1 通園している幼稚園別 幼稚園の良いところ / 気になる・困ったところ】

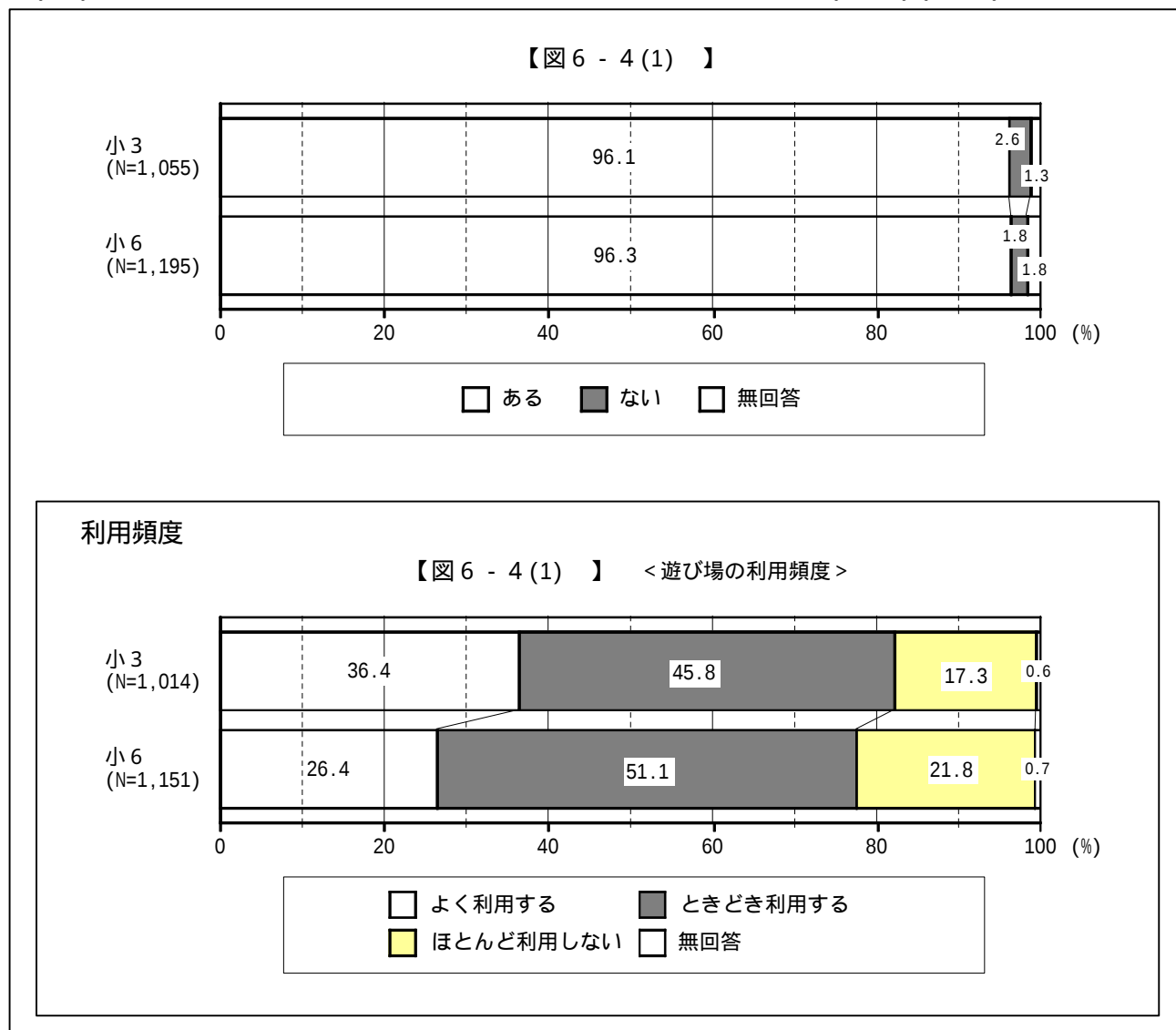
【良いところ】																		(MA%)	
	全 体	生活のリ ズムが整え られすい	異なる年 齢の子ど もと交流 できる	給食があ る	送迎バス がある	近所の友 だちと一 緒	保育料が 安い	集団生活 で社会性 が身に つけられ る	子ども・ 親ともい ろんな友 だちがで きる	親以外の 大人と接 するこ とができる	いろいろな 遊びや体 験がで きる	しつけを してくれ る	勉強を教 えてくれ る	子育てに ついてい てくれる 相談に	保育内容 がよい	その他	特にな い	無回 答	
通園している幼稚園																			
5 歳																			
全 体	733	66.7	40.9	32.7	22.9	23.5	9.8	67.9	63.4	22.4	73.3	20.5	4.5	8.3	9.8	1.2	0.3	17.5	
公立幼稚園	160	78.8	45.0	1.3	0.6	32.5	37.5	74.4	81.3	28.1	88.1	13.8	0.6	16.9	6.3	1.3	0.0	1.3	
市内の私立幼稚園	282	80.5	54.3	50.0	33.0	25.9	1.8	85.5	75.9	28.7	89.7	27.3	8.2	6.0	12.4	1.1	0.0	1.4	
市外の私立幼稚園	149	79.2	45.0	60.4	45.6	29.5	3.4	83.9	74.5	22.8	85.2	28.2	4.7	10.1	16.1	1.3	0.7	4.7	

【気になる・困ったところ】																		(MA%)	
	全 体	保育時間 が短い	保育年限 が短い	給食がな い	送迎バス がない	子どもが ない病 気の時に 利用	近所の友 だちがい ない	保育料が 高い	先生の 人数が少 ない	施設や設 備がよ くない	あつても の相談し や不安 いが	保育内容 がよくない	その他	特にな い	無回 答				
通園している幼稚園																			
5 歳																			
全 体	733	23.2	6.0	14.7	9.4	4.4	7.0	25.6	10.2	3.8	5.0	3.7	6.0	17.1	25.2				
公立幼稚園	160	40.0	19.4	53.8	25.0	3.1	10.0	13.8	10.0	5.0	3.1	5.0	7.5	14.4	7.5				
市内の私立幼稚園	282	23.8	1.8	3.5	4.6	2.8	6.4	36.9	15.2	4.6	6.0	4.3	5.7	21.6	12.8				
市外の私立幼稚園	149	18.8	2.7	4.0	8.1	7.4	10.1	34.9	8.1	2.0	5.4	2.7	8.7	23.5	16.1				

通園している幼稚園別にみると、「給食がある」「送迎バスがある」は私立の割合が、「保育料が安い」は公立の割合が高くなっている。(表 6 - 3(1) - 1)

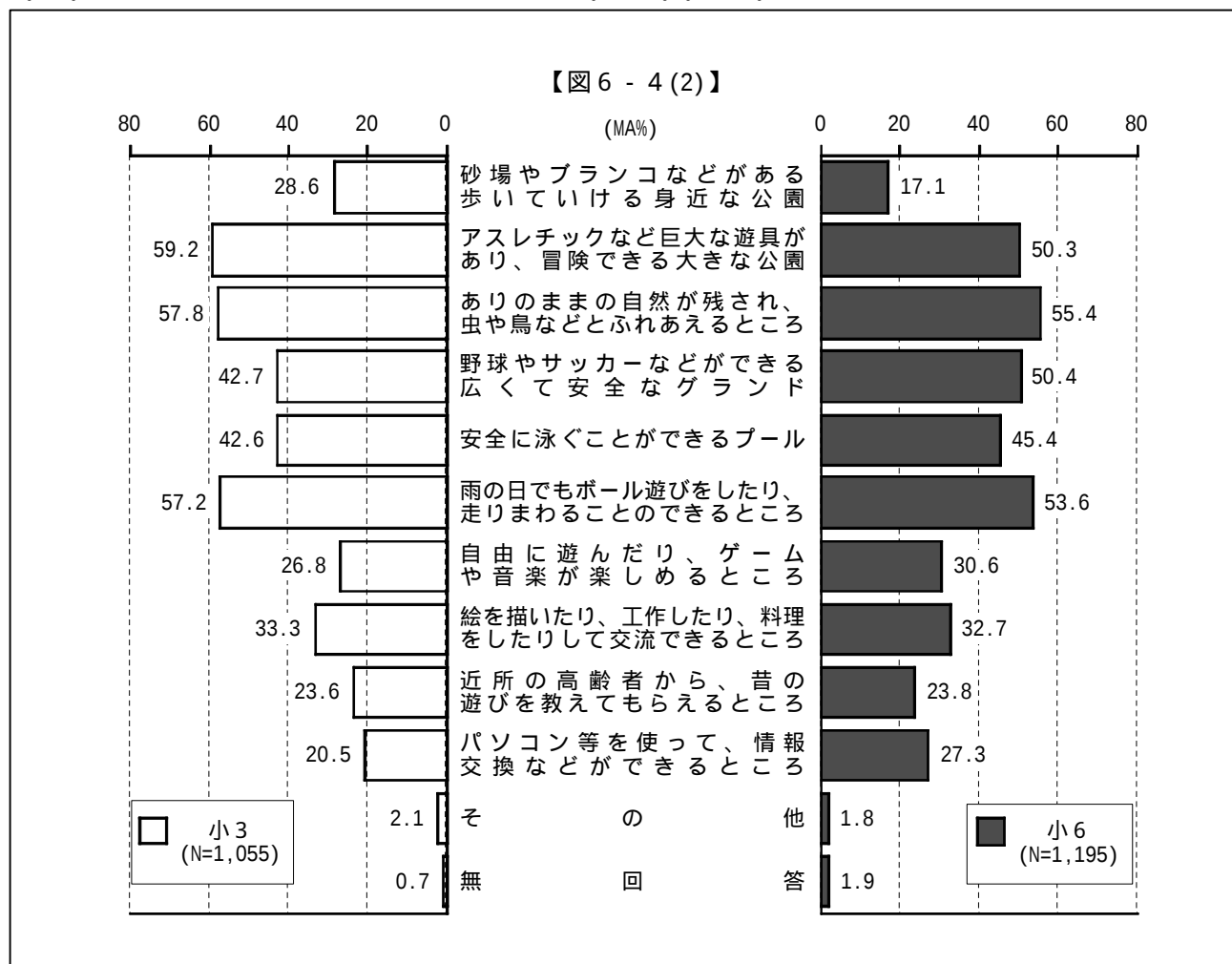
4. 子どもの居場所

(1) 保護者に聞いた子どもの身近な公園や広場などの遊び場の状況(小3)(小6)



保護者に子どもの身近な公園や広場などの遊び場についてたずねたところ、小3、小6ともに96%が「ある」と回答している。その遊び場の利用頻度は、いずれの年代も「ときどき利用する」が最も多く、「よく利用する」をあわせた利用している人は小3で82.2%、小6で77.5%を占めている。小3は小6に比べて「よく利用する」の回答割合が高くなっている。(図6-4(1)、)

(2) 子どもの身近な遊び場として求めるもの (小 3) (小 6)



子どもの身近な遊び場として求めるものをあげてもらったところ、小3、小6ともに「アスレチックなど巨大な遊具があり、冒険できる大きな公園」「ありのままの自然が残され、虫や鳥などとふれあえるところ」「雨の日でもボール遊びをしたり、走りまわることのできる場所」、これに加えて、小6では「野球やサッカーなどができる広くて安全なグラウンド」がいずれも 50%以上を占め、特に多くなっている。また、小3は小6に比べて「砂場やブランコなどがある歩いていける身近な公園」の回答が約 10 ポイント高く、28.6%を占めている。(図 6 - 4 (2))

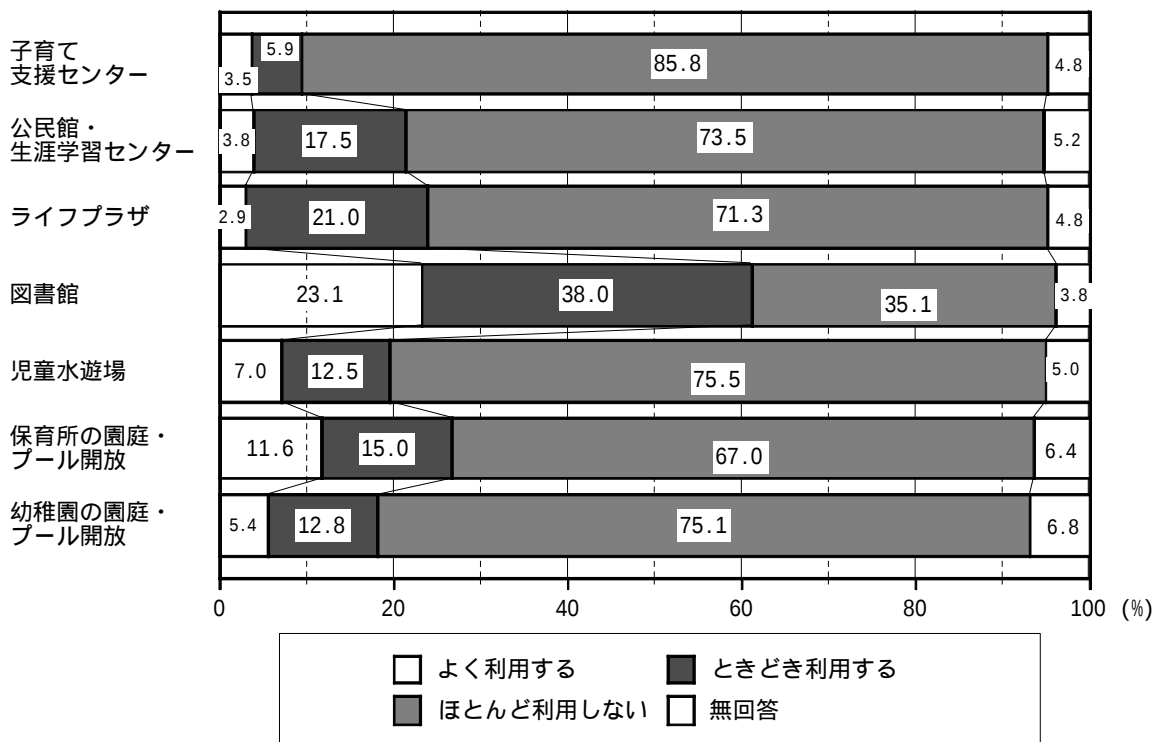
遊び場として、子どもの成長にしたがい、球技等のできる広さの確保を求めている。

(3) 市の施設の利用状況 (2 歳)(小 3)(小 6)(中 2)(17 歳)

施設の利用頻度

【図 6 - 4 (3)】

2 歳 (N=766)



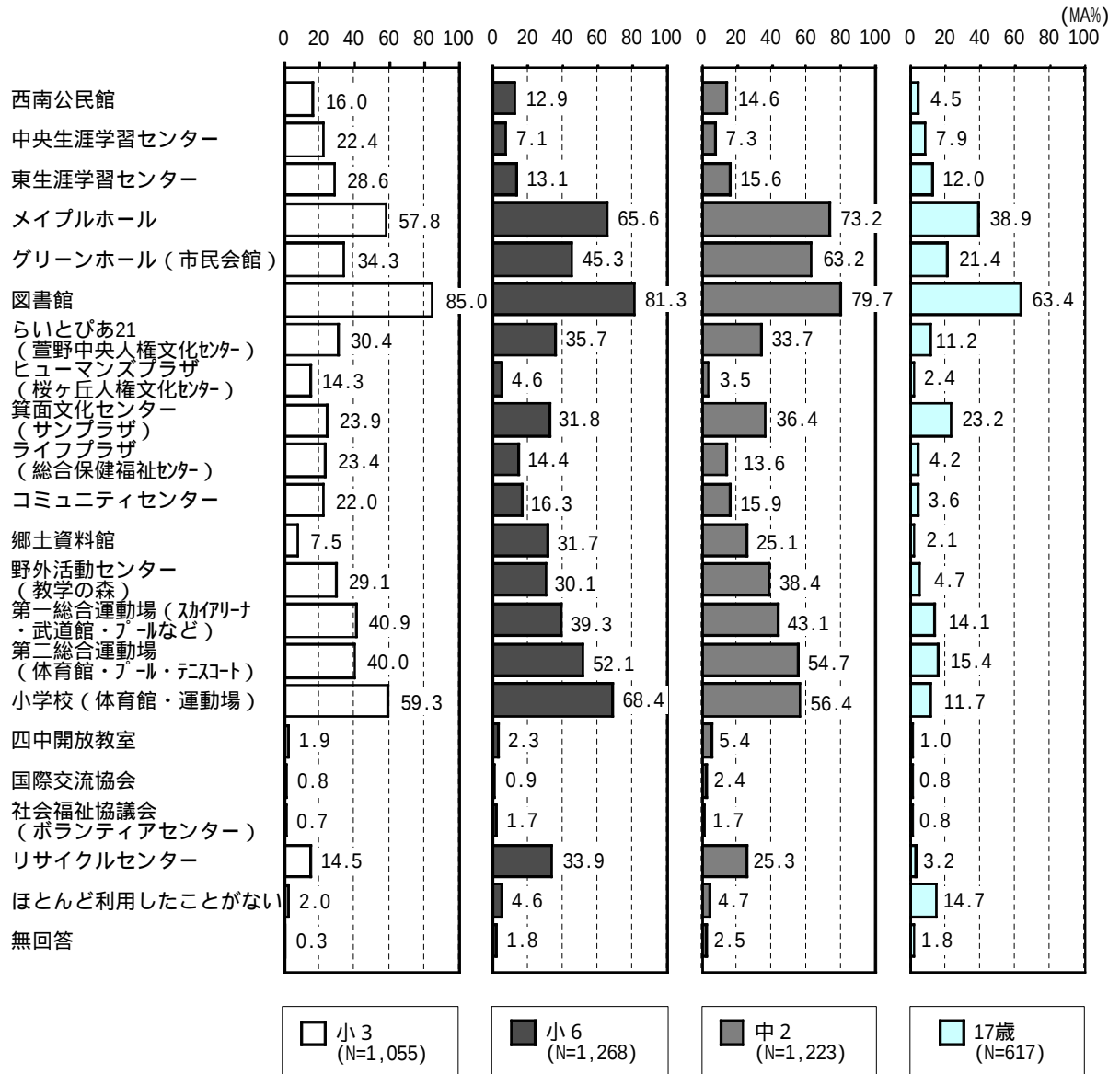
* 校区別の利用状況については、別途資料あり。

2 歳の保護者に対して市の施設の利用状況をたずねたところ、「よく利用する」「ときどき利用する」をあわせた利用する人は、『 図書館 』が 61.1%と最も多くなっている。以下、数値に開きがあるが、『 保育所の園庭・プール開放 』が 26.6%、『 ライフプラザ 』が 23.9%、『 公民館・生涯学習センター 』が 21.3%となっている。(図 6 - 4 (3))

小 3 以上の市の施設の利用経験をみると、いずれの年代も「図書館」が最も多く、小 3 で 85.0%、小 6 で 81.3%、中 2 で 79.7%、17 歳で 63.4%を占めている。次いで、小 3 から中 2 では「メイプルホール」「小学校(体育館・運動場)」を半数以上が利用しており、「メイプルホール」は年代が上がるにつれて割合も増え、中 2 では 73.2%を占めている。また、「第一総合運動場(スカイアリーナ・武道館・プールなど)」「第二総合運動場(体育館・プール・テニスコート)」の利用者も 40 ~ 55%を占めている。17 歳では、「メイプルホール」「箕面文化センター(サンプラザ)」「グリーンホール(市民会館)」が次いで多くなっているが、他の年代に比べるといずれの施設も利用率は低い。(図 6 - 4 (3))

利用経験のある施設

【図6 - 4(3)】



* 校区別の利用状況については、別途資料あり。

17歳はこの一年間の利用経験

市の施設を利用していない理由をみると、『子育て支援センター』『公民館・生涯学習センター』は「何をしているのかわからない」、『図書館』『児童水遊場』は「行くのに不便」、『保育所の園庭・プール開放』『幼稚園の園庭・プール開放』は「時間がない」が最も多い理由となっている。また、『ライフプラザ』は「何をしているのかわからない」「行くのに不便」の2項目が多くなっている。(表6 - 4(4))

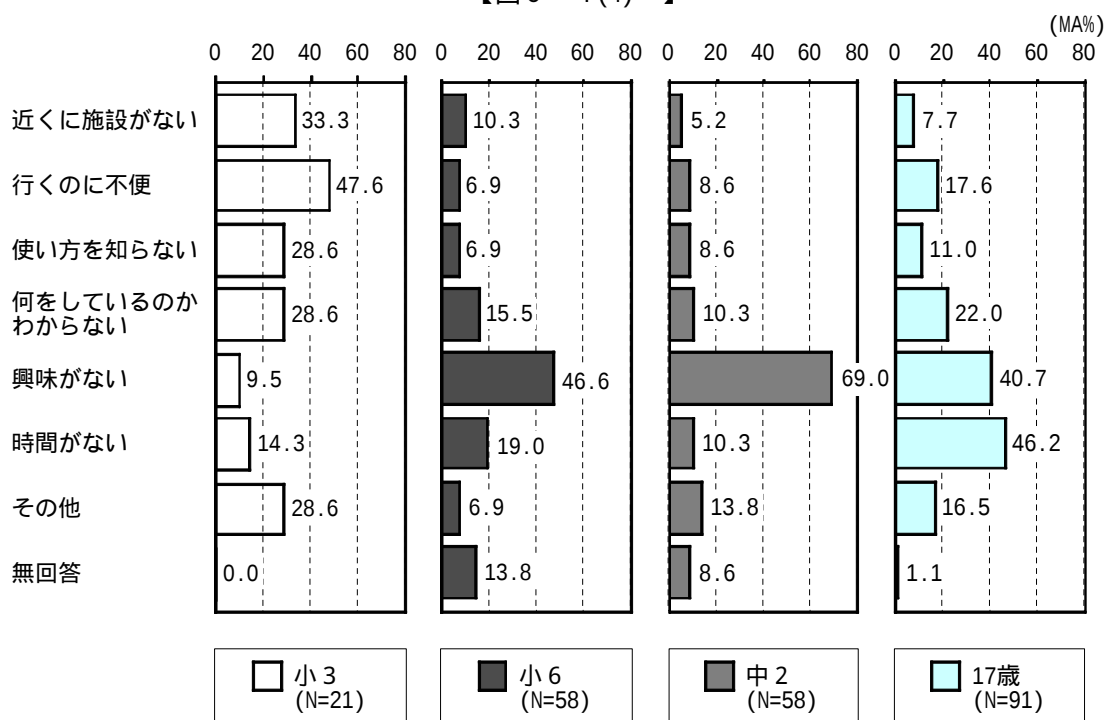
小3以上で施設を利用したことがない人の理由をみると、小3では「行くのに不便」、小6、中2では「興味がない」が最も多く、17歳では「時間がない」もしくは「興味がない」という理由が多くなっている。(図6 - 4(4))

(4) 市の施設を利用していない理由 (2 歳)(小 3)(小 6)(中 2)(17 歳)

【表 6 - 4 (4) 】

															(MA%)
	2 歳	近くに施設がない	行くのに不便	使い方を知らない	何をしているのか わからない	興味が ない	時間がない	子ども連れでは利 用に にくい	使用料が高い	申し込みが大変	職員が不親切	その他	知らない	無回答	
子育て支援センター	657	11.0	14.5	22.8	29.1	7.0	6.5	0.2	0.2	0.5	0.2	3.8	21.3	5.8	
公民館・生涯学習センター	563	7.3	13.5	21.0	34.1	9.4	7.8	7.8	0.2	0.2	0.0	2.8	9.2	6.6	
ライフプラザ	546	8.4	32.4	19.8	30.4	6.0	7.1	1.8	0.0	0.2	0.4	3.3	4.2	6.4	
図書館	269	14.9	20.8	5.6	5.6	10.4	13.8	18.6	0.0	0.4	1.5	8.9	5.6	10.4	
児童水遊場	578	18.0	34.6	7.1	3.6	3.3	6.7	0.9	0.0	0.3	0.2	11.9	19.6	7.3	
保育所の園庭・プール開放	513	8.4	12.3	12.3	5.3	10.3	16.0	0.8	0.0	0.2	1.0	24.4	9.7	8.4	
幼稚園の園庭・プール開放	575	9.0	12.5	12.7	5.9	10.6	16.3	0.7	0.0	0.3	0.2	23.5	9.4	8.5	

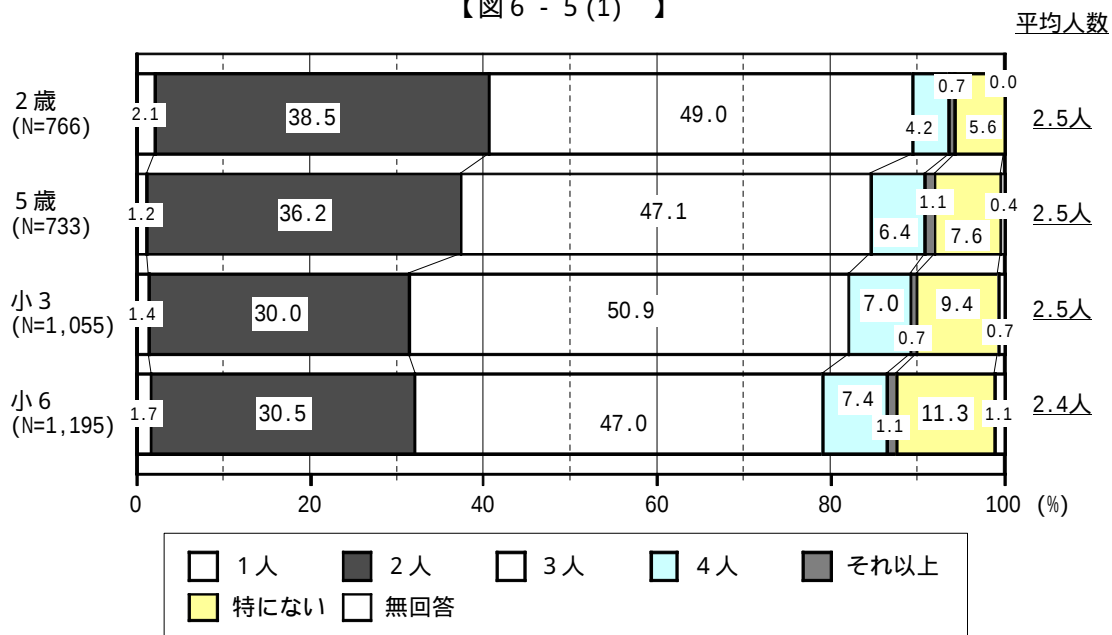
【図 6 - 4 (4) 】



5. 施策全般

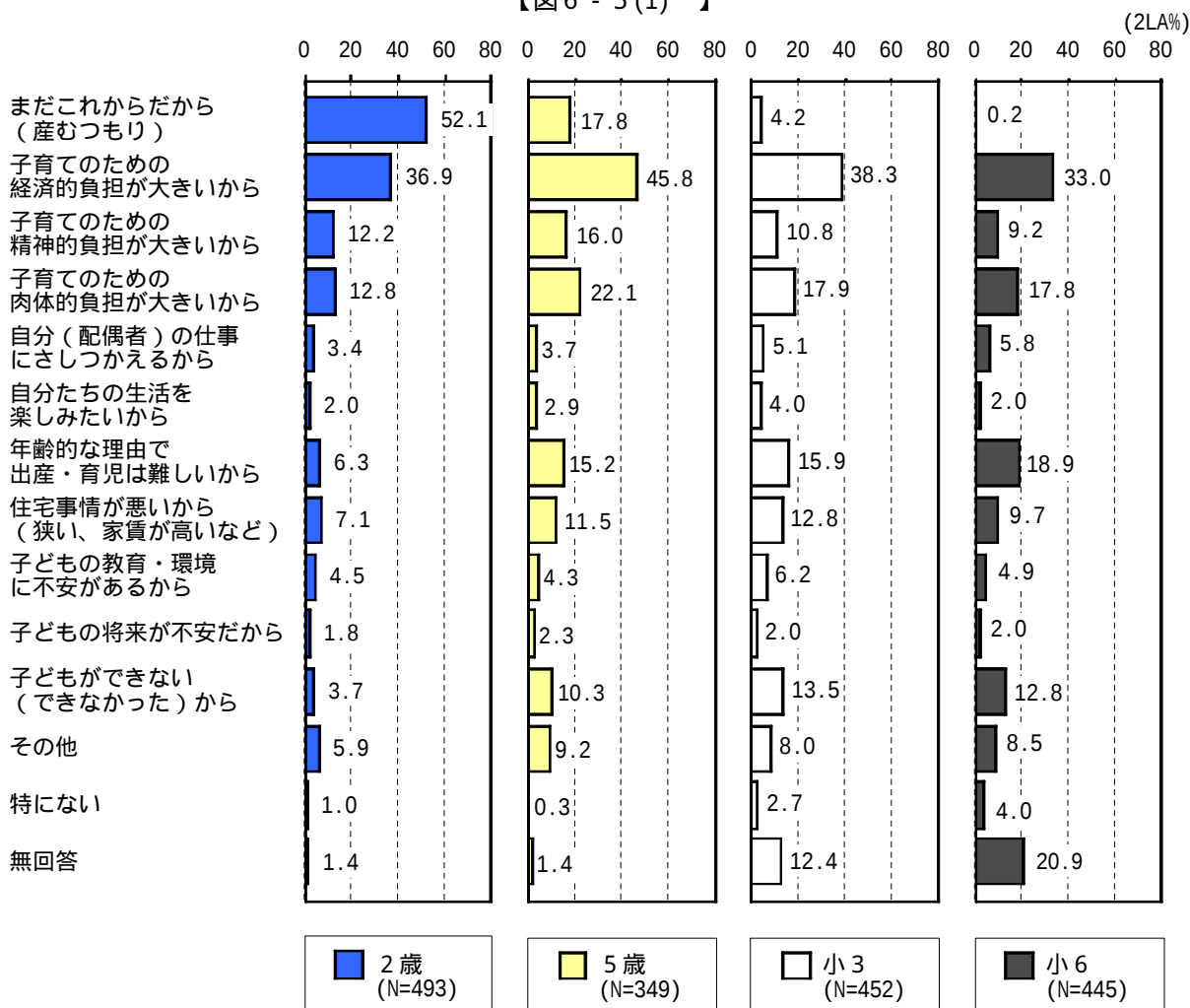
(1) 理想の子どもの数・理想の子どもの数を持たない理由(2歳)(5歳)(小3)(小6)

【図6-5(1)】



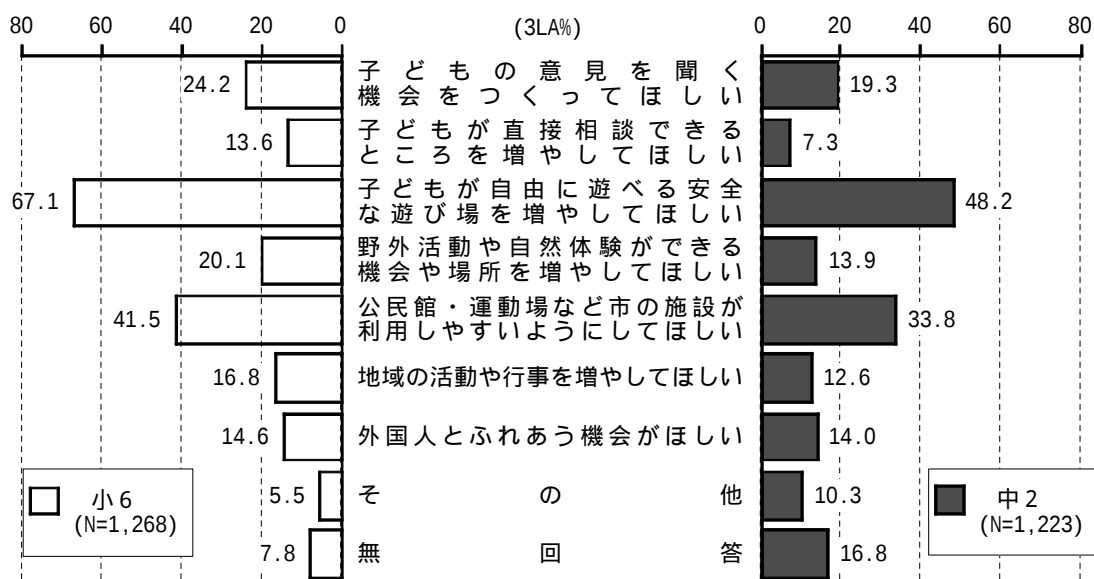
理想の子どもの数を持たない理由

【図6-5(1)】

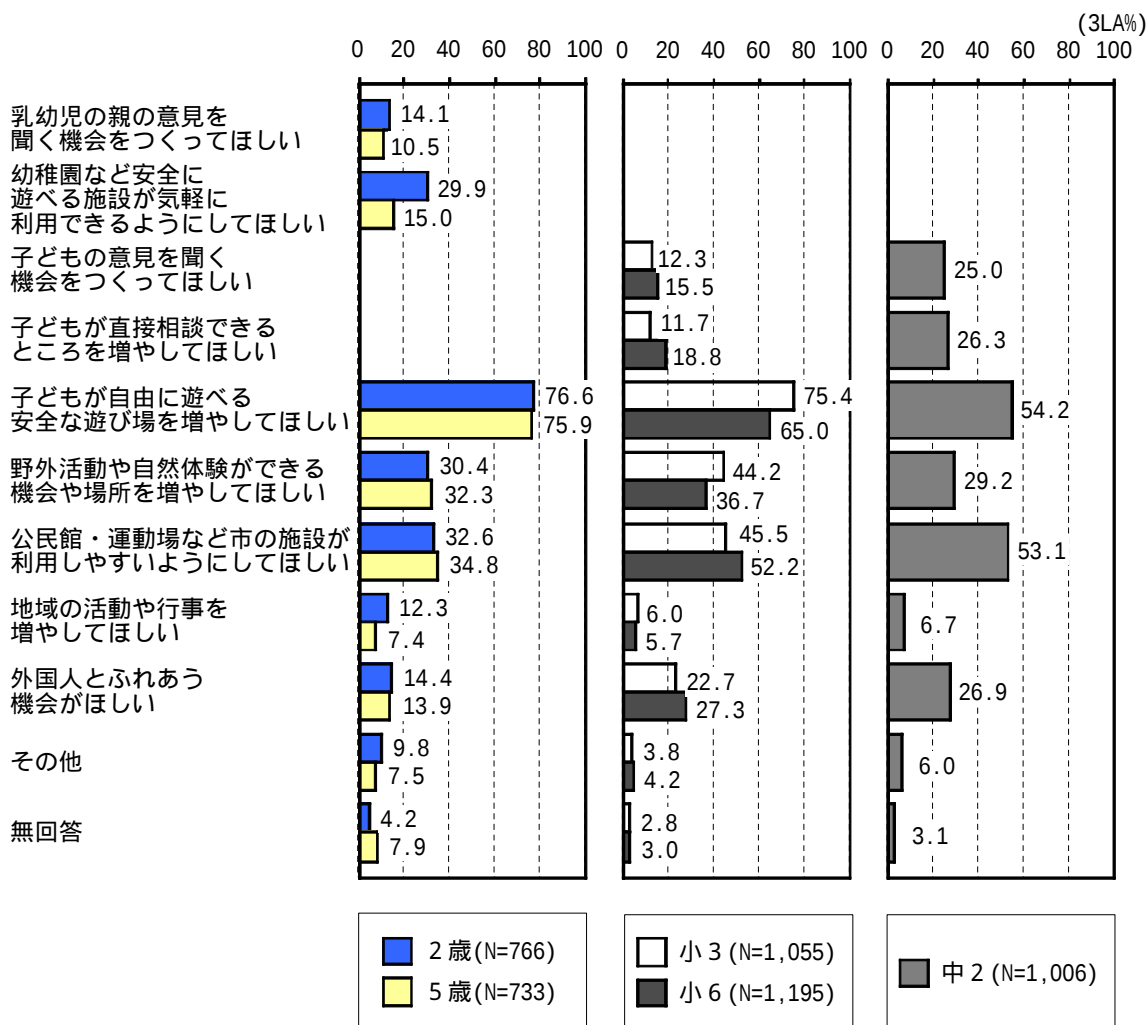


(2) 箕面市への要望 (2 歳)(5 歳)(小 3)(小 6 , 小 6)(中 2 , 中 2)

【図 6 - 5 (2) 】



【図 6 - 5 (2) 】



* 校区別の要望については、別途資料あり。

理想の子ども数をたずねたところ、いずれの年代も「3人」が最も多く、次いで「2人」となっており、平均人数は2歳から小3までは2.5人、小6では2.4人となっている。(図6-5(1))

理想の子どもの数よりも現在の子どもの数が少ない人にその理由をたずねたところ、2歳では「まだこれからだから(産むつもり)」が52.1%と最も多くなっている。5歳以上では「子育てのための経済的負担が大きいから」が最も多く、2歳でも2番目に多い理由となっている。(図6-5(1))

箕面市に対して望むことをあげてもらったところ、子どもは、年代にかかわらず「子どもが自由に遊べる安全な遊び場を増やしてほしい」が最も多く、小6で67.1%、中2で48.2%を占めている。次いで「公民館・運動場など市の施設が利用しやすいようにしてほしい」が多く、小6で41.5%、中2で33.8%を占めている。どちらの項目も中2に比べて小6の割合が高くなっている。(図6-5(2))

一方、保護者では、いずれの年代も「子どもが自由に遊べる安全な遊び場を増やしてほしい」が最も多く、2歳から小3では約75%、小6では65.0%、中2では54.2%を占めている。次いで「野外活動や自然体験ができる機会や場所を増やしてほしい」「公民館・運動場など市の施設が利用しやすいようにしてほしい」などが多く、これに加えて2歳では「幼稚園など安全に遊べる施設が気軽に利用できるようにしてほしい」も多くなっている。また、小3以上では「外国人とふれあう機会がほしい」が20%以上を占め、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。(図6-5(2))